

2026年3月30日

## 臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

### 1. 研究課題名

「見える化」でつなぐ骨粗鬆症の地域連携・自己注射剤の薬薬連携の実践報告とアンケートに基づく Google マップ活用

### 2. 研究責任者

海南病院 薬剤部 森崎 真理子

### 3. 研究の概要

骨粗鬆症治療は開始1年で約45.2%、5年で52.1%が脱落すると報告されており、骨折後の急性期治療から継続治療への移行が課題です。当院ではテリパラチド・アバロパラチド剤導入時に薬剤師による自己注射指導を実施していますが、患者の理解度や懸念点等の情報は電子カルテ内の記録に留まり、主治医や保険薬局への共有は不十分でした。当院では既に運用が確立されている吸入指導の体制を参考に「自己注射指導依頼書・報告書」を導入したため、本研究にて施設間情報共有の有用性を検討します。過去の処方歴やカルテ記録、報告書の記載内容などを用いた情報収集のため、対象患者に新たな侵襲が加わることはないと考えます。また、治療継続を支える地域ネットワーク構築のため、地域連携課と協働して近隣医療機関へのアンケート調査を実施し、その結果を可視化した「Google マップ（以下、マップ）」を作成しました。

本研究では、報告書による介入およびマップを用いた骨折予防外来における逆紹介の取り組みについて評価します。

この研究で得られた結果は、患者の継続した骨粗鬆症治療に活かすことができ、有益であると考えます。

4. 研究方法

① 対象となる患者さん：

2024年4月～2025年12月の間に、当院にて骨粗鬆症自己注射指導を実施した患者さん

② 使用する試料等

カルテ情報（患者情報（性別、年齢）、処方薬剤、指導時の薬剤師記録、医師記録、報告書記載内容）、指導対象者、手技実施者、副作用の発現状況、骨折予防外来受診の有無

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者の個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者を特定できる個人情報は利用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 薬剤部 森崎 真理子

電話：0567-65-2511（代表）